

# メルヘンハウス通信

## 今月の和とく情報

### 単衣に使う生地

単衣の仕立てというのは、裏地が付かず衿裏に裏をつけ背伏せや衣敷当てなどがつく着物ですから生地は何を使用しても良いのですが、少し注意するとすればしっかりした良い生地を使うのが望ましいです。

表の生地を支える裏地が少ないのですから、あまり目方の軽い生地では心許ないと思います。実際、単衣を着る時期は天気が変わりやすく雨の降る日も多いので湿気で縮むことのない生地で作るのがよいでしょう。縮緬系のしぼのある生地は縮みやすいので、お天気の良い日に着ることにして、不安定な天気の日にはなるべく着ることを避けた方がよいでしょう。

その点、紬系統は単衣には安心です。裕にしている少し重いかと思われる着物があれば洗い張りをした単衣にするのも一つの考えかと思えます。

## これからの和とくポイント

### 9月に着る単衣

#### <上旬>「9月上旬に8月からの気温が下がらず真夏日が続く残暑の日」

このような夏日には夏の着物と同じ装いでも許されるでしょう。気温は30度を越える日には9月に入り約1週間位、5日かせいぜい7日まで夏の着物で出掛けても良いとは思いますが、これ以降は単衣にして暑いからといって夏の素材の着物を引きずらないで下さい。

#### <中旬>「気温が20度台になり朝夕涼しく感じたら」

もう9月も中旬になる頃です。絶対に真夏の素材は着ないことです。透ける着物はもう着ません。単衣の着物で帯も単衣かもしくは塩瀬、または、やや軽い感じの袋帯を締めます。着物の格に合わせてください。

#### <下旬>「秋の気配が段々と濃くなるころ、虫の鳴き声が聞こえます」

もうすぐ裕の季節です。単衣もやや地の厚い物を着ても良いでしょう。帯や着物の色も濃いめでも暑苦しくは見えません。凌ぎやすく絹の暖かみも肌に心地よい頃になってくるでしょう。夏の着物の手入れはこの頃には済ませてしまいましょう。そして10月からの裕の準備に入ってください。

10月から裕と言うことですが、これも9月上旬の考え方と同様で秋晴れの暑い日であれば10月いっぱい位までは単衣を着ていても良いと思います。つまり服で言えば半袖でいたくなるような日です。この頃までは晴天の日が比較的多いので、初秋の単衣一式を用意してあれば安心なのでぜひ心掛けてみてください。

どうも単衣は勿体ないと…なかなか思い切って着ず、裕にばかり仕立てる方が多いのですが、単衣を着る期間は昔より多くなっていますので、あればとても重宝です。涼しくなればとたんに着物は着るのが楽になります。初秋から着物を楽しみましょう。



今日もきもの気分

## やしま呉服店からのお知らせ

### 9月の催事・イベント

◎こだわりの会・・・13日(金)～15日(日)

### カルチャー

◎ポーセラーツ教室・・・26日(木)



※各詳細のお問い合わせはお店まで  
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

### さくらきもの学院

季節的に着物を着ることが遠ざかる夏が過ぎ、いよいよ伸び伸びと着られる秋!

着付を習いませんか? 教室へのご紹介者には「帯締めor帯揚げ」プレゼントいたします!

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

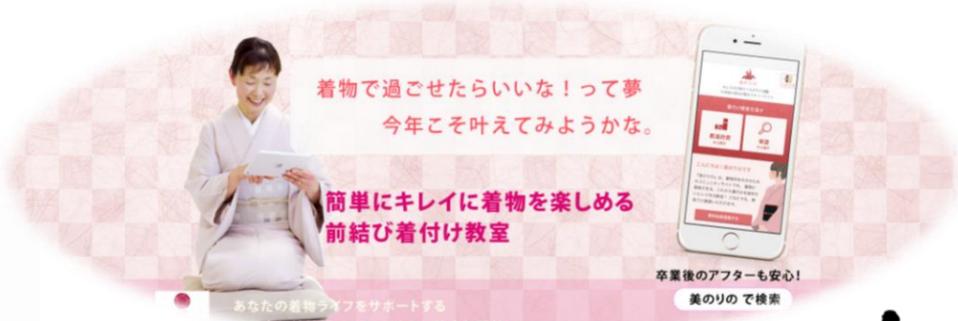
### レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科6回

・1dayレッスン: 500円/回

◎blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>

## さくらきもの学院6周年記念 着付け教室受講生募集中



ありがとう